


施策マネジメントシート(2020年度の振り返り、総括)

作成日 2021 年 6 月 14 日

基本目標	II	豊かな自然と共生するまち	主管課	名称	総合戦略課	
				課長	林 市治	
施策	13	人と自然の共生の推進	関係課	農林課 林業振興係/生活水道課 環境政策係/観光工商課 自然観光係		

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名		対象		意図
				1	2	1	2	
①町民 ②町外の人 ③みなかみユネスコエコパークの自然環境		①自然環境に対する意識を高め、人と自然が共生する取り組みを積極的に行う。 ②町の自然資源の価値を認識して、関わりを増やす。 ③保全され、後世に引き継がれる。	基本事業	1	保全活動の推進(まもる力)	①町民、町外の人 ②みなかみユネスコエコパークの自然環境	①保全活動を積極的に行う。 ②まもられる。	
				2	自然資源の活用(いかす力)	①町民、町外の人 ②みなかみユネスコエコパークの自然環境	①自然資源を活用する。 ②いかされる。	
				3	豊かな自然の啓発(ひろめる力)	①町民、町外の人 ②みなかみユネスコエコパークの自然環境	①自然の豊かさや大切さを認識する。 ②ひろめられる。	
				4				

施策の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の豊かな自然と暮らしが共生してきたことの理解を深めるとともに保全活動を積極的に推進します。 ・町内の暮らしのまわりにある自然環境の調査研究を推進するとともに環境教育を推進します。 ・身近な自然である里山環境を整備するとともに、そこから得られる木材や自然エネルギーなどの地域資源を有効に活用します。 ・河川空間を利用して隣接区域とともに良好なまちと水辺が融合した空間形成に取り組みます。 ・ユネスコエコパークの理念に基づく取り組みを通じて、SDGs達成への貢献を目指します。
---------	---

施策の成果指標	成果指標名	単位	区分	2016年度(H28)	2017年度(H29)	2018年度(H30)	2019年度(R1)	2020年度(R2)	2021年度(R3)	2022年度(R4)
				A	人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合	%	実績値	実績なし	15.9	16.4
B	町内の自然環境が守られていると感じる町民の割合	%	実績値	64.2	67.8	63.1	67.4	65.2		
			目標値		65.0	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0
C	みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度	%	実績値	実績なし	88.7	88.3	88.4	88.0		
			目標値		70.0	75.0	80.0	85.0	85.0	90.0
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							

指標設定の把握方法	<p>A) 直接的な設問であり、数値が高まれば「自然環境に対する意識」目標が達成されていると言えるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 まもる・いかす・ひろめる取り組みの3項目の平均を実績値とする。 ※あなたは日頃、町内において自然と共生する取り組みを行っていますか。→「全て行っていない」と回答しなかった人の割合(まもる取り組み、いかす取り組み、ひろめる取り組みの平均値)</p> <p>B) 直接的な設問であり、数値が高まれば「自然環境に対する意識」「保全され、引き継がれる」目標が達成されていると言えるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※町内の自然環境が守られていると感じますか。→「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合</p> <p>C) 直接的な設問であり、数値が高まれば「自然環境に対する意識」目標が達成されていると言えるため成果指標とした。 町民アンケート(翌年度実施分)により把握 ※あなたは、町が「ユネスコエコパーク」へ登録されたことを知っていますか。また、「ユネスコエコパーク」の趣旨についても知っていますか。→「知らない」と回答しなかった人の割合</p>
-----------	--

目標値設定の考え方	<p>A) 人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、みなかみ・水・「環境力宣言」にある、まもる力、いかす力、ひろめる力に沿って町民がどのような関わりを有しているかを数値化するもので、現状では設問から2人に1人が何らかの関わりを持っているものと考えられるので、2022年度は地道に施策を展開し毎年2%ずつ増やし60%を目標とする。</p> <p>B) 町内の自然環境が守られていると感じる町民の割合は、従来からのアンケートから65%をスタートに2022年度は毎年1%ずつ増やし70%を目標とする。 なお、当該アンケートは漠然としている各種施策を展開しても数値には反映しないものとする。</p> <p>C) みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は2017年の登録を契機に2017年度調査の42%を大きく上回り町民4人に3人弱が知っていると考え70%をスタートに積極的に周知に努め2022年度は90%を目標とする。</p>
-----------	---

施策のための目的・役割分担達成	<p>1. 町民(事業所、地域、団体)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもから高齢者まで、町の自然に理解を深めること、自然を守ること、自然にふれあうことに取り組む。 ・家庭や事業所において、省エネルギーや環境にやさしい活動に取り組む。 <p>2. 行政(町、県、国)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みなかみユネスコエコパークの登録を町内外に周知しその理念に基づいたまちづくりを行う。 ・自然環境の保全、調査研究を行う。 ・群馬県自然環境保全条例の適正運用とみなかみユネスコエコパークの周知及び自然環境の調査・研究を行う。 ・自然公園法等の適正運用とみなかみユネスコエコパークの周知及び自然環境の調査・研究を行う。 ・谷川岳エコツーリズム推進全体構想に基づいた取り組みを推進する。
-----------------	---

施策を取り巻く状況	<p>1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年6月14日みなかみユネスコエコパークが登録される。 ・森林環境税の創設が2018年度税制改正の大綱に盛り込まれる。(2017年12月22日) ・SDGs未来都市選定(2019年7月1日) ・2021年5月「2050年の脱炭素社会実現」に向け地球温暖化対策推進法改正。 <p>2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林資源を積極的に活用し産業を振興するべきである。 ・みなかみユネスコエコパーク登録を契機にその理念に基づいたまちづくりを行うべき。 ・自然環境を守りつつ、それをうまく活用するべきである。 ・自然環境の保全とみなかみユネスコエコパークの関わりなどについて出前講座などを開催して町民の意識の向上のため啓発活動が必要である。 ・自然環境保全地区や貴重な動植物生息地域、景観が優れている地域などを町民が関わり指定する制度などが必要である。
-----------	---

施策	13	人と自然の共生の推進	主管課	名称	総合戦略課
				課長	林 市治

実績比較		背景・要因
① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。	<p>①人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、平成29年度15.9%、平成30年度16.4%と微増したが、令和元年度は14.8%、令和2年度は21.4%と増加した。</p> <p>②町内の自然環境が守られていると感じている町民の割合は、平成29年度67.8%、平成30年度63.1%と減少したが、令和元年度は67.4%、令和2年度は65.2%とほぼ横ばい状態である。</p> <p>③みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は、平成29年度88.7%、平成30年度88.3%、令和元年度88.4%、令和2年度は88.0%とほぼ横ばいであった。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。	
	<input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態)	
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。	
	<input type="checkbox"/> かなり低下した。	
② 他団体との比較	<input checked="" type="checkbox"/> かなり高い水準である。	<p>環境力宣言、ユネスコエコパークへの登録、SDGs未来都市認定など、本町の人と自然の共生に係る取り組みは、近隣市町村と比べ盛んである。具体的には、</p> <p>①谷川岳一ノ倉沢交通規制の実施。県内で交通規制を実施しているのは片品村(尾瀬)のみ。電気バス2台を運行。</p> <p>②みなかみ町自然環境及び生物多様性を守り育てるため昆虫等の保護を推進する条例制定(平成23年4月1日)</p> <p>③エコツーリズム推進全体構想が平成24年6月29日に国から認定された。(全国3番目、国立公園としては当時初めての認定)</p> <p>④赤谷プロジェクト活動支援事業(生物多様性の復元と持続的な地域づくりを進める取り組みは全国で2カ所のみ)</p> <p>⑤みなかみユネスコエコパークの登録(平成29年6月14日)。国内の登録地は現在10ヶ所のみであり、ユネスコの国際的なプログラムであり高い水準の取り組みであると言える。</p> <p>⑥森を育む広葉樹産業化プロジェクトに関する協定書締結(平成30年12月10日)</p> <p>⑦日本ユネスコエコパークネットワーク(JBRN)とイオン環境財団との連携協定に基づいたBR啓発活動を実施している。(みなかみBRフェア、イオンチアーズクラブ等)</p> <p>⑧SDGs未来都市選定(令和元年7月1日)</p>
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。	
	<input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。	
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。	
	<input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	
③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。	<p>①人と自然が共生する取り組みを行っている町民の割合は、目標値56%に対し21.4%となり目標値を大きく下回った。</p> <p>②町内の自然環境が守られていると感じている町民の割合は、目標値68%に対し65.2%となり目標を下回った。</p> <p>③みなかみユネスコエコパークの認知度・理解度は、目標値85%に対し88.0%となり目標を達成した。</p>
	<input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。	
	<input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。	
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	

	基本事業名	成果指標名	単位	区分	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
					実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	
1	保全活動の推進(まもる力)	A 里山などの整備や野生動物・植物の保全活動をしている町民の割合	%	実績値	実績なし	9	12.3	10.6	11.8		
				目標値		25.0	26.0	27.0	28.0	29.0	30.0
		B 森林整備面積	ha	実績値	90.92	107.92	118.23	176.51	154.16		
				目標値		106.00	110.00	110.00	120.00	120.00	130.00
2	自然資源の活用(いかす力)	A エコツアーへの参加者数	人	実績値	2,092	3,377	2,840	5,790	2,476		
				目標値		3,500	3,960	4,420	4,880	4,950	5,000
		B 自然を活用した活動をしている町民の割合	%	実績値	実績なし	24	24.9	22.0	34.8		
				目標値		25.0	27.0	29.0	31.0	33.0	35.0
3	豊かな自然の啓発(ひろめる力)	A みなかみユネスコエコパークのホームページへのアクセス数	件	実績値	実績なし	59,280	38,077	31,604	27,970		
				目標値		30,000	31,000	32,000	33,000	34,000	35,000
		B 自然とのふれあいを楽しんだり伝えている町民の割合	%	実績値	実績なし	14	11.9	11.9	17.5		
				目標値		50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0
4				実績値							
				目標値							
				実績値							
				目標値							

	基本事業名	今後の課題	今後の取り組み(案)
		1 保全活動の推進(まもる力)	①自然環境の現状を把握すると共に町民自身が自然環境の保全活動に積極的に取り組むための仕組みづくり。②森林経営管理法、森林環境税・譲与税の新たな仕組みへの対応(いかす・ひろめるにも関連)③森林環境の保全
2 自然資源の活用(いかす力)	①木材や自然エネルギーなど地域資源を有効に活用する。②自然資源の持続可能な利活用を目指した産業の活性化。③観光、農林業、商工業等の経済活動における、みなかみ町BRブランドとして付加価値をつける。	①木材や自然エネルギーの地産地消を推進する。木材が循環するための調査及び仕組みを検討する。②地域の自然環境の保護・保全を図りつつ、それら自然資源を持続可能な形で利活用することで、地域の社会及び経済の発展を図ることを目指す。自伐型林業の推進、広葉樹などのBRの資源を活かした産業モデルの構築。③BRブランドの確立のため、認証制度の調査研究をする。	
3 豊かな自然の啓発(ひろめる力)	①豊かな自然を啓発する人材育成②参加者に適した環境教育のプログラムの整備③町の豊かな自然を再認識してもらう。④各事業者及び学校関係者がBRの趣旨を説明できるようにする。⑤子ども達等に対するBR、SDGsの浸透⑥環境省との連携	①環境教育、自然環境保全、木育、自伐型林業などに携わる人材の育成。②赤谷プロジェクト・エコツーリズム協議会・ホテルを守る会などの関係者と協議し環境学習のテーマやプログラムの調整を図る。③みなかみの自然とくらし概要版を活用して自然の重要性を啓発。④各事業者及び学校関係者が研修会や勉強会を行う。⑤町内外の子ども達等への環境教育、SDGsの普及啓発、木育の推進及び強化。⑥谷川岳インフォメーションセンターの活用	
4			

13_人と自然の共生の推進

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 7 月 13 日更新)

事務事業	000002	庁内エコ活動推進事業			① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	528,000 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進			平成22年改正省エネルギー法の施行により、エネルギーの原油換算使用量が1,500k以上の事業者を特定事業者に指定し、削減のための中長期計画の策定、定期報告書の提出が義務づけられている。地球温暖化対策では、温暖化対策の実行計画の策定を義務づけ、温室効果ガスの削減に努めることとされています。即ち、平成22年10月に省エネルギー法による特定事業者に指定され、平成21年12月には地球温暖化対策法に基づく「みなかみ町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)」を策定し、事業にあっている。	第3次実行計画に沿って、毎年0.5%のCO2排出量を削減に向け取り組んだ。		事業実績				
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		CO2換算温室効果ガス排出量		
根拠	有	組織	生活水道	課	環境政策	係	COP21で決議されたCO2削減対策に対し、庁舎一体となった、より一層の削減対策や中長期計画の見直しが必要となってくる。		今年度の達成状況を確認しながら、計画に沿って毎年0.5%の削減に取り組む。		令和元年度	令和2年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	11	7,307	6,764	t-CO2

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 6 月 24 日更新)

事務事業	000006	谷川岳一ノ倉沢道路適正利用推進事業			① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	8,560,173 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進			谷川岳一ノ倉沢道路の渋滞が予想される行楽シーズンについて交通規制を実施し、自然環境保全を中心に、歩行者の安全確保や通行車輛の事故防止を目的とします。	関係機関と連携して、電気バスの運行期間中、事故なく運行を行う。		事業実績				
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		道路利用者数		
根拠	無	組織	観光商工	課	自然観光	係	電気バスの持続的な運行		引き続き、関係機関と連携して、電気バスの運行期間中、事故なく運行を行う。		令和元年度	令和2年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	11	36,977	27,135	人

令和 2 年 9 月 8 日作成 (令和 3 年 7 月 12 日更新)

事務事業	000008	生物多様性保全活動推進事業			① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	4,126,580 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進			①「昆虫等保護条例」に基づく地域及び管理者の指定と補助金交付事務。 ②生物多様性地域戦略の策定の検討を行う	コロナ禍であったが、活動推進事業は実施された。また、環境省の交付金を活用した生物多様性保全推進協議会事業も展開された。		事業実績				
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		活動推進事業補助金交付数		
根拠	無	組織	総合戦略	課	エコパーク推進	係	①「昆虫等保護条例」の啓発と指定地域及び管理者の普及 ②ユネスコエコパークの推進計画と整合する生物多様性地域戦略の検討		BRの町として生物多様性保全調査を実施し、その結果に基づいた適正利用の推進を図ってきたい。		令和元年度	令和2年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	11	5	5	箇所

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 7 月 13 日更新)

事務事業	000009	環境対応車推進事業			① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,411,199 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進			*電気自動車急速充電器設備の管理(町内4カ所道の駅)町内に訪れる観光客や電気自動車ユーザーに環境に配慮した取り組みを町内外へアピールし、排出されるCO2を削減します。	急速充電器保守業務委託料の見直しを行った。		事業実績				
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		急速充電器利用台数(累計)		
根拠	無	組織	生活水道	課	環境政策	係	早くに導入したため課金機能が無く無料で充電できるため、利用者には大変喜ばれている。電気料と維持管理費が道の駅での買い物等に繋がっていただければ良いが、今後の充電機器の更新をどのようにしていくかが課題		道の駅に設置している充電設備について、設置から9年が経過した今後の維持管理が懸念されるため、今後の運用を検討する。		令和元年度	令和2年度	単位
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	11	7,986	2,102	台

13.人と自然の共生の推進

令和 2 年 9 月 8 日作成 (令和 3 年 7 月 12 日更新)

事務事業	000010	赤谷プロジェクト活動費補助事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	200,000 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進			プロジェクトの各種会議やイベント等への参画や、地域協議会との協力連携による支援と地域への普及啓発を行う。	赤谷プロジェクト関連会議、活動にオブザーバーとして参加し意見交換および情報共有に努めた。R1に引き続き町役場幹部と意見交換会を実施した。	事業実績					
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)					赤谷プロジェクト会議等(企画運営会議、企画調整会議、ほか)への参加回数					
根拠	無	組織	総合戦略	課	エコパーク推進	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業 H 29 ~ 年間		会計	1	款	2	項	1	目	11	令和元年度	令和2年度	単位
						プロジェクトの事業とユネスコエコパークに基づく町の考えや取組を共有し相互の取組にいかす。	プロジェクト協定の更新において、ユネスコエコパークとの連携強化に係る文言が追記されるなど協力関係がより強固となっている。さらなる連携に努めたい。			11	12	回	

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 7 月 13 日更新)

事務事業	000011	ホテル保護事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	515,663 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進			生活環境のバロメーター「ホテル」をはじめとする水棲生物等の生息地の整備など、自然との共生や環境保全を推進し、自然に親しむ機会の拡充に努めます。ホテルを守る会等と協力し、ホテル観賞会や小学校でのホテル教室など環境教育を推進します。さらに、観光資源として地域の活性化につなげます。ホテル関係施設の管理、ホテル観賞会、環境教育(ホテル教室)の実施、ホテル生息地・発生数等の調査を実施しています。	コロナウイルス感染症対策のため観賞会やイベントは中止となったが、保護活動やホテル教室については、予防対策をとりながら活動した。	事業実績					
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)					ホテル教室・保護育成活動参加延人数					
根拠	無	組織	生活水道	課	環境政策	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	4	項	1	目	5	令和元年度	令和2年度	単位
						ホテルの情報(生態も含め)を発信し、保護するもの、観光とするものがマナーを守り共存していくことが必要である。 ホテル保護を担当する職員の後継者の育成が必要である。	活動に参加する皆さんの高齢化やコロナ対策を考えながら、無理ないように活動を継続していく。			1,714	375	人	

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 7 月 13 日更新)

事務事業	000012	藤原里山保全事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,000 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進			①上ノ原の茅場再生事業、藤原地区の古道復活事業、森林塾青水主催のイベント等への協力。②森林塾青水との連絡調整。	コロナウイルス感染症対策のため茅焼きなど中止となった。他の取り組みについても規模を縮小して活動を継続した。	事業実績					
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)					青水イベント参加者数					
根拠	無	組織	生活水道	課	環境政策	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	7	項	2	目	2	令和元年度	令和2年度	単位
						イベントの参加者が減っているため、宿泊に結びつかない。また、野焼きの実施、中止の判断に関して認識のずれがある。	森林塾青水との連携について検討する必要がある。			50	87	人	

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000020	ミニダム管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	72,500 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進			国有林内に設備した治山施設に対する借地料の支払いを行う。	—	事業実績					
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)					支払件数					
根拠	無	組織	農林	課	林業振興	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策					
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	6	項	2	目	2	令和元年度	令和2年度	単位
						課題なし	—			1	1	件	

13.人と自然の共生の推進

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000032	里地・里山保全整備事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	33,164,860 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				ぐんま緑の県民基金により、里山・平地林について、地元で整備する場合については補助金による支援を行い、地元で整備するのが困難な箇所については、町が整備することにより、獣害の抑制・通学路等の安全確保を図る。	事業実績	整備面積・管理面積				
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)										
根拠	有	組織	農林	課	林業振興	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	6	項	2	目	2	4.42・20.73	10.06・32.33	ha
・不在地権者等、地権者と協定を結ぶのがスムーズな事業着工の鍵である。 ・2年目以降の地域住民による管理について、高齢化により管理が困難になりつつある。													

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000034	林業専用道整備事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,160,000 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				林業振興のため、新しいタイプの林道である林業専用道を県が開設するのに負担金を支払う	事業実績	工事延長				
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)										
根拠	無	組織	農林	課	林業振興	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	6	項	2	目	3	800	320	m
課題なし													

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000037	自伐型林業推進事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,316,063 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				○自伐型林業研修の実施(自伐協との委託契約・研修場所の選定及び地権者との交渉) ○自伐型林業を実施する際、多面的機能発揮対策交付金の利用を希望する団体の対応	事業実績	会議、研修会等の開催回数 ・自伐型林業家数(従事者数)				
	基本事業	01	保全活動の推進(まもる力)										
根拠	有	組織	農林	課	林業振興	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業 H 27 ~ 年間		会計	1	款	6	項	2	目	2	8・74	12・83	回・人
「自伐林業」推進する上で、町民啓発と個人の技術力向上が課題である。							協議会の事務は、町主体から民間主体に移行する。						

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 6 月 24 日更新)

事務事業	000001	谷川岳エコツーリズム推進事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	6,190,900 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				平成24年6月に国から認定を受けた谷川岳エコツーリズム推進全体構想に基づき、谷川岳の自然を守りながら地域活性化に資する取組を推進するもの。	事業実績	谷川岳エコツアー参加者数				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)										
根拠	無	組織	観光商工	課	自然観光	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業 H 24 ~ 年間		会計	1	款	7	項	2	目	1	5790	2,476	人
インタープリターの養成及び登録制度の確立。							引き続き未登録のインタープリターを登録していく。						

13.人と自然の共生の推進

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 7 月 13 日更新)

事務事業	000002	小水力発電施設管理事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	594,000 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				<ul style="list-style-type: none"> ・市民協働事業で1kW程度の谷川ピコ水力発電所を設置した。 ・平成25年度矢瀬マイクロ水力発電所を設置。以降発電所の維持管理に加え、再生可能エネルギーの普及や環境教育に取り組む。 	設置された2つの小水力発電施設について特に矢瀬公園小水力の維持管理を継続したが、再生可能エネルギーの普及を含む環境教育については十分とは言えない状況であった。	事業実績				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)										
				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		年間発電量					
根拠	有	組織	生活水道	課	環境政策	係	<ul style="list-style-type: none"> ・水力発電施設を環境教育に展開すること。 ・水力発電施設の維持管理に伴う専門知識の習得及びスキルアップ。 ・出力13kwの連続運転が可能であることを確認した。 ・現在のところ冬期は水量が不足し運転できない。 	谷川地区の小水力発電施設は地区で管理利活用を継続している状況です。矢瀬公園の小水力発電施設は矢瀬公園内の設備に電力供給をしているが、水量についてはJRの水を利用していることから通年利用はできない状況にある。その中で施設の管理	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	2	項	1	目	11	27258	33,233	kWh

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 7 月 13 日更新)

事務事業	000003	住宅省エネルギー設備設置費補助事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,294,000 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				平成22年4月みなかみ町住宅用省エネルギー設備設置費補助金交付要綱を新たに施行し、住宅用太陽光発電設備の設置に対して補助金を交付した。平成23年度からは、太陽光発電設備の設置が難しい北部地域でも省エネルギーの取り組みも助成できるよう、対象を太陽熱温水	HPなどにより周知した。	太陽光発電設備設置申請件数 ・高効率給湯設備設置申請件数				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)										
				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		令和元年度 令和2年度 単位					
根拠	有	組織	生活水道	課	環境政策	係	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備について、国は平成26年度をもって補助を終了、県も平成28年度より融資制度に切り替わっている。町の制度も改正等を検討する必要がある。 	2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略やぐんま5つのゼロ宣言等の整合性を図りながら補助事業を推進する。	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	2	項	1	目	11	8・44	8・41	件

令和 2 年 8 月 17 日作成 (令和 3 年 6 月 16 日更新)

事務事業	000006	阿能川親水公園管理運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	76,460 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				阿能川親水公園にある公衆トイレの浄化槽維持管理を業者へ委託している。草刈り等の維持管理は、阿能川区が無償で行っている。	-	管理上の問題発生(対処)件数				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)										
				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		令和元年度 令和2年度 単位					
根拠	無	組織	地域整備	課	都市計画	係	課題なし	-	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	8	項	3	目	1	0	0	件

令和 2 年 8 月 17 日作成 (令和 3 年 6 月 16 日更新)

事務事業	000007	須川川親水公園管理運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	50,000 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				遊神館前にある須川川親水公園は、土木事務所が整備し、維持管理は町が行っている。草刈り等の維持管理を地元の入須川活性化委員会へ委託している。	-	管理上の問題発生(対処)件数				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)										
				②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		令和元年度 令和2年度 単位					
根拠	無	組織	地域整備	課	都市計画	係	課題なし	-	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	8	項	3	目	1	0	0	件

13.人と自然の共生の推進

令和 2 年 8 月 17 日作成 (令和 3 年 6 月 16 日更新)

事務事業	000008		矢瀬親水公園管理運営事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,057,030 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				都市公園(H10年10月告示、特殊公園)に係る維持管理事業である。草刈り等の維持管理は、月夜野は一べすとへ委託している。	支障木を伐採したことにより、安全に通行できるようになった。	事業実績				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)						管理上の問題発生(対処)件数				
根拠	有	組織	地域整備 課		都市計画 係		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	8	項	4	目	4	4	3	件
町道悪戸矢瀬線(公園進入路の信号機付近)の樹木が大きくなり、通行に支障を来している。													
公園内の樹木が大きくなり、伐採する必要がある。													

令和 2 年 9 月 8 日作成 (令和 3 年 7 月 12 日更新)

事務事業	000011		ユネスコエコパーク推進事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	732,982 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				ユネスコエコパークの理念である自然と人間社会の共生するまちづくりを推進するため、計画の策定や、普及啓発、等全体の運営を行う。	コロナ禍もあいまってプランの策定はできなかった。町内小学校への普及啓発活動はこれまで以上に実施することができた。	事業実績				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)						検討、協議、普及啓発の実施回数				
根拠	無	組織	総合戦略 課		エコパーク推進 係		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	7	70	60	回
管理運営計画に基づく推進プランの作成と、普及啓発。													
引き続き子どもたちへの普及啓発に力をいれ取組を進めるとともに、推進プランの策定を行う。													

令和 2 年 9 月 8 日作成 (令和 3 年 7 月 12 日更新)

事務事業	000013		木育推進事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,168,077 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				木育を通じて、ユネスコエコパークの理念である自然と人間社会の共生するまちづくりを推進する。	コロナ禍によりイベントの実施はできなかった。木のタマゴボールはラストとなる3セット目が完成した。	事業実績				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)						・木育関連イベントの開催 ・ウッドスタート宣言と誕生祝い品事業の実施				
根拠	無	組織	総合戦略 課		エコパーク推進 係		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	7	3	0	回
木育をテーマとして、子育て、教育、林業、観光等々の連携した仕組みの構築と人材の育成													
これまで活動してきた木育協力者(北風塾や新治きつずくらぶなど)との連携の確認をしていきたい。													

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 6 月 24 日更新)

事務事業	000014		かわまちづくり事業(水辺活用プラン)				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,955,171 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				河川占用基準の緩和や国よるかわまちづくり支援制度を活用し、今までに無い河川の利用方法を検討、実施する。	定期的な群馬県及び関係機関や地域住民等との協議・検討会議	事業実績				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)						水紀行館入館者数(売店 売上人数+食堂数+露天 利用者+クライミング数) ※整備後の指標としている。				
根拠	無	組織	観光商工 課		自然観光 係		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	2	項	1	目	11	246908	167,512	人
地域住民と地域事業者、河川管理者(群馬県)と一体となった取り組みが不可欠													
継続した関係機関と一体となった取り組み													

13.人と自然の共生の推進

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000016	薪ストーブ等設置費補助事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	5,400,000 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進	町民等が薪ストーブ等を購入する経費に対して補助金を交付するもの。	—	事業実績				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)			補助金交付件数・補助金交付額				
根拠	有	組織	農林課	林業振興係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業 R元～年間		会計	1	款	6	項	2	目	2
課題なし					—	令和元年度	令和2年度	単位		
					20・3,097 27・5,400 件・千円					

令和 2 年 9 月 8 日作成 (令和 3 年 7 月 12 日更新)

事務事業	000017	森の恵と学びの家管理運営事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,091,455 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進	みなかみBRの発信拠点として「森と学びの森」をオープンさせた。その管理運営を行うと共に、カスタネットや木工体験を通じてみなかみBRの普及啓発を図る。	内装を改装し、森のおもちゃ工房と屋号を親しみやすくするなど運営の改善を図ったが、コロナ禍の影響を受け低調であった	事業実績				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)			来店者数				
根拠	無	組織	総合戦略課	エコパーク推進係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業 H27～年間		会計	1	款	2	項	1	目	7
平成27年5月から4年が経過するが大口の受注がないと厳しい状況。受注先から悩ましい状況が続いており、手を引きたいとの声もある。					今後のコロナ明けの状況で評価したい。	令和元年度	令和2年度	単位		
					0 1,944 0					

令和 2 年 9 月 8 日作成 (令和 3 年 7 月 12 日更新)

事務事業	000018	ふるさとキラキラフェスティバルフォローアップ事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	3,760,060 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進	区長を通じ、回覧で花苗配布の希望を調査取りまとめ、業者に依頼し育苗の委託をする。6月頃希望者に対し花苗の配布を行う。みなかみBR等の理解を高める説明を配布する。	ふるさとキラキラフォローアップを趣旨として事業を展開する一方、事業趣旨についてあらためて検討した。	事業実績				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)			花苗配布事業実施団体数				
根拠	無	組織	総合戦略課	エコパーク推進係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
事業期間	新規事業 R2～年間		会計	1	款	2	項	1	目	7
事業自体の目的が薄らいでしまっている。財源(基金)に限りがある。目的として農家の育成よりも景観形成や地域づくりのウエイトが高くなっている。					活動の趣旨が協働のまちづくりに合致することから、令和3年度からは事業を移管することとなった。	令和元年度	令和2年度	単位		
					0 86 0					

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000019	特用林産物加工施設管理運営事業		① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	65,900 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進	平出の特用林産物加工施設の管理について、土地の賃借契約および使用料の支払いと、商工会との管理委託契約の締結	—	事業実績				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)			加入者数				
根拠	有	組織	農林課	林業振興係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業 H～年間		会計	1	款	6	項	2	目	2
課題なし					—	令和元年度	令和2年度	単位		
					26 32 人					

13_人と自然の共生の推進

令和 2 年 9 月 8 日作成 (令和 3 年 7 月 12 日更新)

事務事業	000020	日本ユネスコエコパークネットワーク事業					① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	100,000 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				我が国のBRの全てが参加する組織である「日本ユネスコネットワーク」において、交流と協働を通じたBR活動の発展と向上を図るもの	コロナ禍によりオンラインMTが主流となったことから、会議回数が増え、内容の濃い議論が展開された。	事業実績				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)						会議参加回数(WG、幹事会、総会、現地視察など)				
根拠	無	組織	総合戦略	課	エコパーク推進	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	期間限定	年間	会計	1	款	2	項	1	目	7	0	8	0
我が国に10カ所のBRがあるが、課題が様々であるとともにJBRNへの期待も様々である。							引き続き、積極的に議論に参加し、みなかみBR及び国内BRの価値の向上に努めたい。						

令和 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 6 月 9 日更新)

事務事業	000021	広葉樹産業化プロジェクト事業					① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,581,800 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				森林資源を有効活用した地域内経済の循環を推進する。	-	事業実績				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)						森林活用協議会と連携する団体数				
根拠	有	組織	農林	課	林業振興	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	新規事業	R 2 ~ 年間	会計	1	款	2	項	1	目	7	0	5	0
-							森林活用協議会を主体として、協力する企業等を募り、森林資源の有効活用を検討していく。						

令和 2 年 9 月 8 日作成 (令和 3 年 7 月 12 日更新)

事務事業	000023	ユネスコエコパーク協議会運営事業					① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	0 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				ユネスコ本部に提出しているみなかみBRの基本計画である管理運営計画。その計画の施工主体はみなかみBR協議会であり、その会長はみなかみ町長であることから、その補助執行事務局業務を行う。	コロナ禍もあいまって課題の解決も踏まえ、総会を書面にて開催した。	事業実績				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)						会議開催回数				
根拠	無	組織	総合戦略	課	エコパーク推進	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業	H 29 ~ 年間	会計	1	款	2	項	1	目	7	0	1	0
計画の施行主体はみなかみBRではあるが、実質的な活動主体はみなかみBR推進委員会及びエコパーク推進課であることから協議会は形式的な存在である。協議会の議事は儀式的なものとなることを踏まえ、新潟側などの遠方の方への配慮が必要か。							引き続き、協議会の委員へ理解を求め、効率的な会の運営を図りたい。						

令和 2 年 9 月 8 日作成 (令和 3 年 7 月 12 日更新)

事務事業	000025	ユネスコエコパーク科学委員会運営事業					① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	799,825 円			
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進				みなかみBR科学委員会はみなかみBRの推進について科学的見地から提言及び助言を行う組織で、生物多様性調査及び科学的評価を行うための事務局業務を行う。	生物多様性保全推進協議会による調査結果を分析し、鳥獣害対策などに活用するとともに、定期報告の情報が蓄積された。	事業実績				
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)						活動回数(委員会、調査等)				
根拠	無	組織	総合戦略	課	エコパーク推進	係	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業	H 29 ~ 年間	会計	1	款	2	項	1	目	7	0	2	0
10年後のユネスコへの定期報告において、自然環境調査など専門的知見によるデータの蓄積及び評価がなされなければBR登録が取り消される。							引き続き、生物多様性調査に係る情報収集及び調査を実施し、定期報告の準備と科学的知見による事業執行に資するよう努めたい。						

13_人と自然の共生の推進

平成 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 6 月 24 日更新)

事務事業	000037	谷川岳インフォメーションセンター周辺整備事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	31,570,000 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進			環境省による谷川岳インフォメーションセンター建設に伴う関係者との調整及び建設時に必要となる周辺の整備など	環境省や関係者と意見交換を重ね、意思統一を図った。	事業実績					
	基本事業	02	自然資源の活用(いかす力)					工事完了件数。 (舗装工事、トイレ改修)					
根拠	無	組織	観光商工	課	自然観光	係	環境省との調整を行う上で迅速な対応が必要になる。	引き続き、関係者と意思の統一を図り、看板等の設置を進める。	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業 R 1 ~ H 年間		会計	1	款	7			項	2	目	3	0

平成 2 年 9 月 8 日作成 (令和 3 年 7 月 12 日更新)

事務事業	000001	環境教育推進事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	420,212 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進			町内外の方に町の環境資源を活用した環境教育を行い、町内の人材を育成すると共に、首都圏や利根川流域圏などの交流を推進し、自然環境の大切さの情報を発信していく。また、町内の全小中学生を対象に行う。	コロナ禍のためこれまで実施していた町内小中学校のほとんどが当該事業の活用を見送った。町外の学校とオンラインによる授業を展開することができた。	事業実績					
	基本事業	03	豊かな自然の啓発(ひろめる力)					参加者数					
根拠	無	組織	総合戦略	課	エコパーク推進	係	小中学生については実施ができていないので、それ以外の方に対する対応が必要。	町内小中学校の環境教育の授業に積極的に関わり、地元有識者を特別講師として活用してもらうなどの取組を進める。	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業 H 26 ~ H 年間		会計	1	款	2			項	1	目	11	244

平成 2 年 8 月 18 日作成 (令和 3 年 7 月 13 日更新)

事務事業	000002	環境ポスターコンクール事業				① 事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	35,820 円				
施策体系	施策	13	人と自然の共生の推進			環境美化・地球温暖化・循環型社会に対する意識の啓発と郷土愛を育むことを目的とし、町内各小中学校を対象に環境ポスターコンクールを行ってきた。エコパーク登録を契機にみなかみユネスコエコパークポスターとして募集を行う。夏休みの作品として学校を通じ応募	エコパーク・ほたるポスターと連携して募集を行った。	事業実績					
	基本事業	03	豊かな自然の啓発(ひろめる力)					ポスター応募数					
根拠	無	組織	生活水道	課	環境政策	係	特にない。	児童生徒数は毎年減少しているが、継続することが大事である。	令和元年度	令和2年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ H 年間		会計	1	款	4			項	1	目	5	63